

答 建て替えには現敷地拡張のため土地等の補償交渉が必要で、移転先は緊急出動に支障のない道路に面し、現在地から遠く離れず、海岸線と津波浸水予想地域でないことが望ましい。

松本昌成（公明党市議員）

アピアランスケアの認識について

問 がん治療は、体に傷跡が伴う。患者にとっては苦痛など外見の変化をもたらす。患者が自分らしく過ごすために、ストレスを軽減するアピアランスケアが重要と考えるが、どうか。
答 患者が外見の変化へのストレスが少ない生活



を送るために、取り組むべき重要な支援であると認識している。

セカンドブック事業の導入について

問 幼児や児童に本を贈るセカンドブック事業の導入について伺う。

答 絵本を通じての親子のふれあいなど、事業の意義は大きいと認識している。家庭でも絵本に親しんでもらえるよう、事業の導入に向けて検討する。

喚田孝博（自民党市議員）

稲葉市政2期目の成果と課題、今後について

問 マニフェストに基づく施策の自己評価は。

答 おおむね納得できる、満足できる結果に導けていると自己評価している。

問 3期目に向けた思いを伺う。

答 市議会で尋ねられて言うのではなく、自分の進む道は自分で公表すべきだと思っている。

学校と地域の連携・協働について

問 本市での地域学校協働活動の進め方は。

答 公民館が隣接される竹島小学校で具体的に活動を展開していきたい。学校と地域のニーズを把握し、新たな価値を生み出す地域コーディネートをもとめる統括コーディネーターの役割が重要だと考えている。

尾崎広道（自由クラブ）

西浦町馬相、形原町音羽の危険な交差点について

問 両交差点への歩車分離式信号の設置予定は。



答 県公安委員会によると、設置には交差点改良等の整備が必要であり、昼間の歩行者数を調査した上で、慎重に進める必要があるとのことである。

問 豊川市の御津南部小学校の北西にある交差点には歩道がないが、歩車分離式信号を設置した理由は。

答 交差点の四つ角にポストコーンを設置したことで、歩行者の安全対策がなされたためと思われる。

崩落の危険性がある通学路の石積擁壁について

問 身近な危険から子どもを守る取り組みは。

答 出前講座等で、日ごろから身近な危険を察知できる子どもをふやしたい。

鈴木基夫（自由クラブ）

契約規則の見直しを

問 本市の公契約に対する基本的な考え方は。

答 公契約については、競争性、透明性の確保が

必要であり、市民から疑念を抱かれるようなことがあってはならない。また、地域経済の活性化、市民の安全・安心の確保への配慮が必要だと考えている。

問 本市の契約規則では、契約の総額が5万円を超えない場合は、契約をしようにとする者のみの見積書の徴取により随意契約ができることとされている。消費税率も10%となり、規定の見直しが必要ではないかと考えるが、市の考えは。

答 随意契約の取り扱いには注意が必要であるが、施行からこれまでの期間の物価変動等社会情勢の変化に基づき、年内に見直しを行いたい。

